

● 創業50年を迎えて

創業者芝本輝雄は、昭和36年末、10年間お世話になった日本毛織株式会社を退社、翌37年7月、加古川町木村の自宅納屋を改造して精米所として芝本商店を開業。町内会の皆さんはじめ近隣の方々にお世話になりながら精米所を営む傍ら、購入したトラックを活用するため姫路の建材商北浦商店のセメントの配送を手伝うようになり、各地の建材店に親しく出入り出来るようになりました。

精米所の精米機用に動力200Vを引いたので、他に活用出来ればとの思いと建材店への出入りが結び付き、米の収穫後の藁（わら）切断機を購入、壁資材ワラスサの製造と建材店への卸売が始まりました。

その後、当初の地元建材店への卸売が京阪神間までルートが広がるとともに、お客様からの要望により、ワラスサだけでなく、マニラスサ、漆喰スサ等製造品目が多くなりました。その内、材料を調達していた淡路島で特産のセメント混和材の浅黄土も営業ルートに乗り多忙になってきました。その間、近隣の方々に袋張りの内職をお願いしたり、倉庫に納屋をお借りしたり、公園に商品を積み上げたり、自宅周辺の方々にはご迷惑をおかけし、本当にお世話になりました。

そんな折、多忙さを見かねて松下電器産業で東北方面の営業をしていた創業者の弟、芝本正人（2代目社長）が兄を手伝う為、会社を退職、兄弟力を合わせて事業に取り組むことになりました。

昭和41年12月芝本商店改め、芝本産業株式会社設立。加古川町稲屋にスサ製造工場を建設移転。創業者は当時社名を芝本建材としようと考えましたが、時代の変化とともにいろんな事業に取り組むことが出来るよう芝本産業と大そうな名にしたとのことです。

その後、セメント、セメント二次製品、タイル等々取扱う卸売品目が増加、三井鉱山(株)特約店へと成長しました。また、加古川地域の住宅建築急増もあり、工務店様向けに住宅機器の卸売を開始しました。

昭和47年、国道250号線（明姫幹線）建設工事に伴い土地取用により、現在地加古川町備後に本社移転。この時にスサ製造を止め、卸売業に専念、建築材料、住宅機器、アルミサッシの販売を事業としました。

転機は、住宅機器の浄化槽の販売です。浄化槽を販売すればするほどクレームが来るのです。「汚い水が側溝に出ている」とか「プロアアの音がうるさい」とか「くさい臭いがする」沢山のクレームで走り回っている折、自社で責任の持てるよう設置許可申請、工事、保守点検、清掃と浄化槽に関する全ての業務を一連で請け負い、クレームを無くそうとしました。

これが、住環境サービス業の始まりです。

現在、建材部（建材課・緑材課・石材課・工務課）、環境管理部（設備管理課・施設管路管理課・設備工事課）、ビル管理部（管理課・業務課・大阪営業所・東京営業所）、(株)HER（環境化学分析・環境計量証明・作業環境測定・微生物衛生研究所）と壁材ワラスサ製造業がこんなにも変革を果たしました。

社長も二代目、三代目と早い周期で代替わりし、時代に対応するとともに、芝本産業の名の如く、何でも取扱える名に恥じることなく、製造業から卸売業そしてサービス業へと変革を果たしてきました。如何に持続可能な会社にするかは、永遠のテーマですが、創業50年を機に更なる変革による成長を目指し、常に挑戦し続けます。

これまで支えてくださいました皆様に心より感謝申し上げます。

そして今後ともご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成24年7月

 **芝本産業株式会社**

代表取締役 **芝本 忠雄**